



【巻頭言】

健康管理

一掛け替えのない子どもの為に一

園長 野田大燈

若竹学園が四国医療専門学校の支援を受け、園生の健康管理の為に週 1 度 2~3 名の鍼灸の国家資格を有した教職員が訪れだして約 3 ヶ月が来ます。

当初は職員間で大人も敬遠する針灸やマッサージの治療を園生が受入れるだろうか? という危惧もありましたが、実際に実施してみると大半の園生が積極的に治療を受けているのには驚かされました。

恐る恐る「治療してもらってどう?」と質問すると「うん、よく眠れるようになった」「肩こりが楽になった」と答えてくれました。

全体としては何となく学園全体が穏やかになったように感じられます。

大人でも長期入院や拘束を受ければストレスがかかることは当然ですし、ましてや様々な家庭環境の原因によって学園生活を余儀なくされている園生の精神的・肉体的ストレスは推して知るべしです。

少しでも安心・安全が保障された空間で楽しい学園生活を過ごさせてやりたい、と言う職員の願いからの導入でした。

先日、心理治療の専門家の方から「参考に

されたら如何ですか」と資料を頂きました。

「発達障がいをもつ子どもとマッサージの効用」と言う研究発表論文でした。

発表者は実践女子短期大学の越野由香准教授でした。

要旨は、発達障がいに対して神経学的・生理学的側面から研究が進められており、現在のところ脳の機能障がいであることまでは突き止められているようだが、その原因はまだ究明されていない。発達障がいを有する子どもたちの攻撃性や社会性等その行動特性に注目したものが多いが、当事者からすると、そうした行動を取らざるを得ない背景として、様々な生理的な困難を抱えているのではないだろうかと言う注目から「その軽減や解消としてマッサージについて考察する」と言うことでした。

既にマッサージを行うことで神経伝達物質であるセロトニンやドーパミンが増加することで身体的に活性化されることは証明されていることからマッサージ治療を積み重ねた結果、自律神経の調整が行われて攻撃性や注意力散漫な行動が改善される等好効果が顕れたそうです。

学園の試みは緒に着いたばかりですが、既に発表に至っている先例を知って意を強くしています。

今後も園生の心身健康と自立の為に職員一丸となって取り組んで参りますので本年もご支援のほどお願い申し上げます。

— 一 —

もちつき

12 月 27 日に毎年恒例の餅つきを行いました。去年同様、臼と杵でついたお餅をきな粉や砂糖醤油でおいしく味わいました。餅つきをするのが初めての子もいて、つきたてのお餅をおいしそうに食べていました。



その後、昼食として香川県のあんもち雑煮と関東風のおすましのお雑煮の食べ比べをしました。「私はこっちの方が好きだな。」と言いながらそれぞれにお正月に向けて心の準備が出来たようでした。

峰山公園

12 月 30 日峰山公園に行き、たくさんの遊具で沢山遊びました。



広い場所で元気いっぱい走り回って、疲れてベンチで横になる子もいました。



最後に園児と、職員でかけっこをして帰りました。ダントツで園生が勝ち子ども達の成長が見られました。

映画鑑賞

12 月 31 日に高松イオンへ映画を観に行きました。映画は、「ナルト」と「ベイマックス」から観たい映画を選び、ポップコーンやジュースを購入し、心弾ませながら映画鑑賞を行いました。

鑑賞後の車中や帰園後も園生達の話は映画の話で持ちきりとなっていました。中には、「映画館で映画を観たのが初めてだったからすごく面白かった」と笑顔で話している園生もおり、とてもいい経験が出来たのではと思っています。みんな思い思いに楽しい思い出を作った年末の一日となりました。

初詣・買物

1 月 1 日、園生は、朝お茶を頂いた後、園長先生からお年玉をもらいました。

「俺賢くしてなかったのにお年玉貰っていいの?」「今年、お年玉をくれるんだったら何を買おうか。」「ゲームカセットにしようか…。カードもいいな。」

そんな事を嬉しそうに話しながら白峰寺に初詣に行きました。白峰寺では今年一年良い年になるよう、それぞれが思うことをお願いしていました。

その後、買物に行き自分達が欲しいものを時間をかけて選び、欲しい物を手にし、とても満足した一日が過ごせたようです。



若竹学級たより

阪神淡路大震災を教訓として

新年を迎え新たな気持ちで

寒さが厳しい季節ですが、子どもたちは元気に学校生活が送れています。さて、今月は新年のスタートとして「今年の漢字」と題しまして、子どもたち一人一人が夢や希望を漢字 1 字に思いを込めて考えました。また、小学生のクラスでは書き初めをした子どもたちを紹介します。(全員分ではないですが紹介させていただきます)

今月は阪神淡路大震災から 20 年がたちました。そこで当時の震災ビデオを鑑賞し、被災した方たちの気持ちに触れることで、少しでも子どもたちには被災した方たちの思いを感じて欲しいと思います。また、被災して全てを失った被災者の苦悩や当時のリアリティーのある映像から多くのことを学び、これからの人生の糧として欲しいと願っています。



1月1日の夕食作り

1 月 1 日の買物帰りに園生と一緒に夕食の食材をスーパーで購入しました。行く前から献立を考えていたので、食材を選ぶのに時間がかかりませんでした。

学園に帰ってから、食材を切ったり、食器の準備、机の上を拭いたりと自主的に動いていました。自分たちで作った焼肉と焼うどんは、美味しかった様でいつも小食な A さんも「美味しい。」と笑みを浮かべて御代わりをしていました。



太鼓練習

新年最初の太鼓練習スタートです。しっかりとばちを持ち力強く叩いていました。昨年からの満天太鼓の皆さんの協力で若竹賛歌に和太鼓を加えた演奏を少しずつしています。



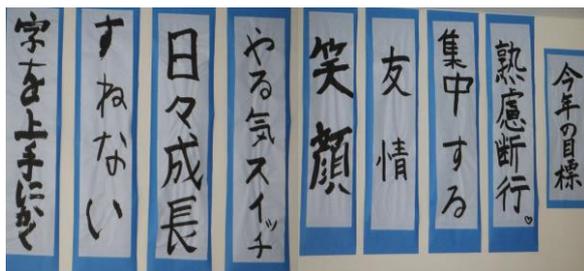
1月の行事

- 1 日 初詣・買物・夕食作り
- 4 日 書初め
- 8 日 終業式
- 12 日 女兒バレー練習
- 14 日 買物学習
- 21 日 避難訓練
- 24 日 太鼓練習
- 25 日 食育 うどん作り

第 252 号発行

園生書初め

1 月 4 日に学園で書初めを行いました。参加者は女兒で各自、半紙に新年の目標を書きました。作品はふれあいに掲示しました。



編集後記

新年明けましておめでとうございます。年末年始は、子ども達とたくさんの行事を行いました。本年も様々な子ども達の様子をお伝えしていきます。

児童指導員 太田 美千代

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192
 TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160
 ホームページ <http://4on.or.jp>
 Eメール wakatake@mail.netwave.or.jp
 編集兼発行者 若竹学園 編集委員
 発行責任者 野田 大燈